

QST 病院において「子宮頸がんにおける X 線および重粒子線治療後の免疫応答の空間・単一細胞解析」研究に参加された方へ

量子科学技術研究開発機構（QST 病院）と理化学研究所（生命医科学研究センター）では、以下の共同研究を実施しています。この研究の詳細について詳しくお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく個人情報の開示・利用停止等の手続きを希望される場合には、下欄の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

【研究の名称】子宮頸がんにおける重粒子線治療の免疫反応の理解と重粒子線免疫併用治療層別化に向けた標的探索研究		
①	試料・情報の利用目的及び利用方法 （他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	●研究の目的 この研究では、子宮頸がん患者さんを対象として、重粒子線治療により引き起こされるヒト免疫反応を解析し、将来的に重粒子線治療と免疫療法との併用が好適となる患者さんの指標を見出すことを目的にしています。 ●研究の対象 「子宮頸がんにおける X 線および重粒子線治療後の免疫応答の空間・単一細胞解析」研究（QST 研究計画書番号：N25-020、以下 N25-020 研究）に重粒子線治療群として参加し、二次利用に同意された方を対象といたします。 ●利用（又は提供）方法 N25-020 研究で収集された②の試料・情報を他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工した状態で解析に利用します。試料（腫瘍組織と血液検体）は、理化学研究所へ送付し、腫瘍免疫環境の変化の解析に利用します。
②	利用し、又は提供する試料・情報の項目	N25-020 研究で収集された患者さんの血液および腫瘍組織、臨床データおよび解析データ
③	利用又は提供を開始する予定日及び研究期間	各研究機関の長の許可日～2032 年 3 月 31 日
④	試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	●量子科学技術研究開発機構（QST 病院長 石川 仁）
⑤	提供する試料・情報の取得の方法	N25-020 研究で収集された試料・情報と解析結果をこの研究に利用します。この研究のために新たな検査や質問を行うことはありません。
⑥	提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究の	研究代表者：長谷川 純崇 量子科学技術研究開発機構（QST 病院）

	場合は研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称	
⑦	利用する者の範囲	●量子科学技術研究開発機構（QST 病院） 研究責任者：長谷川 純崇 ●国立研究開発法人理化学研究所（生命医科学研究センター） 研究責任者：高村 史記
⑧	試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST 病院） 理化学研究所（生命医科学研究センター）
⑨	研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	この研究の結果は、学会や学術雑誌で公表されます。 本研究の研究対象者に該当する可能性のある方（又はその代理人の方）で、試料や情報を本研究目的に利用又は提供されたくない場合、2026 年 6 月 16 日より前に N25-020 研究に参加されている患者さんは 2026 年 12 月 25 日まで、2026 年 6 月 16 日以降に N25-020 研究に参加する患者さんは同意取得後、3 か月以内に下記⑩の問い合わせ窓口までご連絡下さい。上記期限以降のお申し出については、申し出があった時点で、既に個人情報と切り離され解析に使用されてしまった場合を除き、可能な限り解析対象から取り除きます。データを取り除けない場合であっても、研究対象者の個人を特定できる情報が公表されることはありません。
⑩	研究対象者等の求めを受け付ける方法(問い合わせ窓口)	この研究全体の内容についてご質問がある場合やご自身の試料・情報に関するお問い合わせや、利用又は提供を希望しない場合には、量子科学技術研究開発機構 QST 病院（重粒子線治療研究部：長谷川純崇）へお問い合わせください。 ●量子科学技術研究開発機構 QST 病院（重粒子線治療研究部） 住所：千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1 電話番号：043-206-4632（平日 9：00～17：00） E メールアドレス：hasegawa.sumitaka@qst.go.jp